

評価実施	令和 2 年度	事務事業マネジメントシート（兼 事務事業コスト計算書）				
事務事業名	No. <input type="text"/>	くにたち男女平等参画ステーション事業	所属部	政策経営部	所属課	市長室
政策名	No. <input type="text"/>	1 人権・平和・男女共同参画	所属係	男女平等・女性支援担当	課長名	吉田 徳史
施策名	No. <input type="text"/>	基本施策2 男女共同参画社会の実現と女性への総合的な支援	裁量性	裁量性が大きい事業		
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠
	一般	2	1	9	011041810	男女共同参画社会基本法/国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例/国立市第5次男女平等・男女共同参画推進計画
事業期間	単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返	期間限定複数年度 (31 年度 ~ 年度)	

事務事業の概要
 事業の具体的な手順及び詳細(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 <目的>
 平成30年4月、国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例(以下、「条例」)が施行された。
 女性が貧困等の困難な状況に陥りやすいのは、現在の社会構造や家庭等における役割に起因することもある。男女平等や多様な性について理解を深めることで、男女平等参画に対する意識醸成を図り、性別に関わらず誰もが尊重され、自分らしくいきいきと暮らすことができる社会を目指すため、条例第16条の拠点施設として、平成30年5月にJR中央線高架下に設置された「国立駅前くにたちこくぶんじ市民プラザ」内に、開設された。
 この事業を開始した経緯(いつ、どのような経緯で開始したか)
 国立市第5次男女平等・男女共同参画推進計画において、市の男女共同参画の推進拠点が検討課題として挙げられ、国立駅東側高架下市民利用施設の検討において、男女共同参画機能を有する窓口を設置することとなった。その後、平成30年4月施行の条例の拠点施設としても位置づけた(第16条)。
 活動実績及び事業計画
 令和元年度の実績(令和元年度に行った主な活動を具体的に記載)
 1.男女平等参画に関する相談事業 2.普及啓発事業 3.情報収集・提供・発信事業 4.交流促進事業 5.調査・研究事業 6.ボランティアサポーター会議
 令和2年度の事業計画(令和2年度に計画している主な活動を具体的に記載)
 1.男女平等参画に関する相談事業 2.普及啓発事業 3.情報収集・提供・発信事業 4.交流促進事業 5.調査・研究事業 6.ボランティアサポーター会議
 上記事業に加え、アウトリーチ型の啓発事業を実施予定

1 現状把握の部(PPLAN)(DO)
(1) 事務事業の目的
 この事業を実施する背景・課題等(なぜこの事業を行うのか)
 固定的性別役割分担意識がいまだに解消されず、また男女の地位の平等感依然として男性優位である。またLGBT等性的マイノリティに対する理解についても一定の認知はされつつあるが、十分とはいえない。性別に関わらず全ての人が自らの希望する機会を得ることができる社会を実現することを目的に、市民の一人ひとりの意識向上が必要であるため。
 事業の対象者及び対象とした理由(できるだけ細かくセグメント化する)
 市民、性別や生き方により困難な状況におかれた人
 この事業による直接的な効果及び施策の成果向上への道すじ(裁量性の大きい事業のみ記載)
 駅前というアクセス等の利点により、対象者の裾野を広げることができ、また、市役所には相談しにくいと感じていた市民の新たな相談先として期待できる。相談事業や啓発事業、情報発信事業などの様々な手法を用いることにより、市民の男女平等参画意識を醸成することができ、性別に関わらず誰もが自分らしく暮らすことのできる社会の実現につなげることが可能となる。

(2) 各指標等の推移

項目	名称	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)(A)	令和元年度(決算見込み)(B)	令和2年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)
① 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	相談種別数	ア 種	-	-	5	5	5	5	0
	講座等(普及啓発)の件数	イ 件	-	-	18	28	30	30	10
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	市民数(4月1日時点)	ア 人	-	-	75,932	75,984	76,282		52
		イ							0
③ 成果指標 (事務事業の達成度を表す指標)	相談件数	ア 件	-	-	281	813	800	800	532
	講座の参加人数	イ 人	-	-	2,056	4,121	2,500	2,500	2,065
④ 上位成果指標 (施策の達成度を表す指標)	DV等を受けた時に、どこにも相談しなかった(できなかった)市民の割合	ア %	38.5(H27)	-	-	50.7	25.5	18.0	-
	市内における女性の相談支援拠点(アクセスポイント)の箇所数(民間含む)	イ 箇所	3	3	4	4	4	5	0

(3) 事務事業コストの推移

項目	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)(A)	令和元年度(決算見込み)(B)	令和2年度(当初予算)	目標年度(目標値)	差額(B)-(A)	
支出内訳	正規職員従事人数	人			2	2	2		
	延べ業務時間	時間			1,000	800	800	-200	
	正規職員人件費計(C)	千円	0	0	5,000	4,000	4,000	-1,000	
	再任用職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間						0	
	再任用職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	
	嘱託職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間						0	
	嘱託職員人件費計(E)	千円	0	0	0	0	0	0	
	人に係るコスト計(F)	千円	0	0	5,000	4,000	4,000	-1,000	
物に係るコスト	物件費	千円			13,292	13,042	15,006	-250	
	うち委託料	千円			13,145	13,020	14,940	-125	
	維持補修費	千円						0	
物に係るコスト計(G)	千円	0	0	13,292	13,042	15,006	-250		
移転支的コスト	扶助費	千円						0	
	補助費等	千円			451	499	552	48	
	繰入金	千円						0	
	その他	千円						0	
	移転支的コスト計(H)	千円	0	0	451	499	552	48	
その他	千円							0	
支出計(I)=(F)+(G)+(H)	千円	0	0	18,743	17,541	19,558	0	-1,202	
収入内訳	国庫支出金	千円							0
	都支出金	千円							0
	分担金及び負担金	千円							0
	使用料及び手数料	千円							0
	繰入金	千円							0
	その他	千円							0
	収入計(J)	千円	0	0	0	0	0	0	0
収支差額(K)=(J)-(I)	千円	0	0	-18,743	-17,541	-19,558	0	1,202	
一般財源投入割合	%	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%	100%	#DIV/0!		

2 評価の部(CHECK) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関係と性評価	① 公共関係の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【以下に理由を記入】	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?																
	② 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																
有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【以下に理由を記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【以下に理由を記入】	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地	<input type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)さらなる歳入を確保できないか?																
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																
事業の実施に当たり、ソーシャル・インクルージョンの理念を踏まえ、多様性への配慮はなされているか? <input checked="" type="checkbox"/> 適切に実施している・一部実施している ⇒【以下に理由(具体的な取組内容)を記入】 <input type="checkbox"/> 実施していない ⇒3 改革・改善方向の部に反映 評価になじまない																			
この事業は、この事業の対象者からの意見(想定している効果と対象者の感じている効果のギャップはあるか?)(裁量性の大きい事業のみ記載) 市民から、性の多様性や男女平等等の啓発事業に関し、アウトリーチして欲しいとの意見がある。ステーションの事業を多くの市民に周知して欲しいとの声がある。																			
この事業は、この事業の対象者からの意見(想定している効果と対象者の感じている効果のギャップはあるか?)(裁量性の大きい事業のみ記載) 相談や各種イベントの参加された方の評価は高く、本事業が市の条例の理解促進や男女平等参画推進の大きな原動力となっている。特に若年層への周知は施策の課題でもあり、若年層に届くような情報発信、大学等との機関との連携は必須である。																			
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)																			
(1) 担当課評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
① 公共関係と妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開設2年目として、相談件数、啓発事業の参加者数は2倍以上の伸びがあった。 民間事業者への委託により、HPやTwitterなどのSNS、情報誌など、様々な媒体を活用した啓発や情報発信は、新たな利用者獲得の大きな力となった。																	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	一方、市内の関係機関にも周知されてきており、講座や会議などの要請も多くなるようになった。限られた予算の中で、要望のある団体等にアウトリーチが可能となるかは次年度以降の課題となった。																	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・具体的に記載 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
課題となっているステーションの認知度の向上は、引き続き様々な媒体を活用しPRすることや関係機関との連携等において、市民等への周知を広げていく。 市民の関心事を敏感に捉え、講演会等のイベントに活かしていくことが新たな利用者の獲得につながるものと考えられる。また企業や学校等との連携も向上させ、共に男女平等参画の向上を目指していく。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下	×		×
	削減	維持	増加																
向上		○																	
維持			×																
低下	×		×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 市報や情報誌などを活用し、今後も周知は徹底していくが、知っているだけでなく実際に訪れる市民をどのように増やしていくかが課題となる。																			
(6) <目標達成基準、見直し・廃止基準>この事業はどのような状態となれば目標が達成されたこととなりますか。また、見直し・廃止となりますか? 市における男女平等参画社会が実現され、性に捉われない多様な生き方が実現されたとき。																			